

キス（シロギス）用の竿

1 はじめに

「たくさん釣る」ことをモットーにしています。釣れたときのことを繰り返し再現すれば、たくさん釣れるはずですが、そのために記録を残しています。

記録を読み返すまでなく、キス釣りの外道でよく釣れるのがメゴチです。メゴチの当たりはとて小く分かりにくいですが、当たりがないので仕掛けを回収してみたら、小さなメゴチが掛かっていたとか、餌がなくなっていたとかいったことは、よく経験することです。これではキスをたくさん釣ることはできません。小さなメゴチの当たりが分かる竿があれば、キス釣りがもっと楽しくなると思います。

私の場合、ボート用と乗合船用とで竿を変えています。

2 乗合船用の竿 ー竿先が超高感度の短い竿ー

乗合船でも投げて釣りたいものです。しかし、安全配慮からアンダースローで投げなければなりません。そのためには短い竿が必要です。また、メゴチの小さな当たりが分かる竿も欲しいです。そんなことから、竿先が超高感度で短い竿を自作しました。

家に使わないバスロッドがあったので、これに自作の穂先を付けました。まず釣具店でソリッド穂先とガイドを購入してきました。ソリッドを必要な長さに短く切り落とし、次に、穂先が超先調子になるよう紙やすりで削りました。最後に、ガイドを付けて完成です。色は塗っていません。

二本目は、市販のキス竿の穂先を自作しました。使っていた市販のキス竿の穂先が折れてしまったからです。こちらは、穂先の先の方だけをソリッドに付け替えました。もちろん、ソリッドは短めに切り、先は細く削ったことは言うまでもありません。

3 ボート用の竿

私の場合、ボートでのキス釣りは、早春に行くことが多いです。行く場所によるのか、行く時期によるのか不明ですが、メゴチは余り釣れません。ボートから投げるときはオーバースローで投げるので、長さは市販の竿の長さで十分です。

そういったことから、一本目は、乗合船で使っているバスロッドの穂先をソリッドに変え、若干、胴に乗る調子に仕上げました。もちろん、ソリッドの長さは切らずにそのままです。

二本目は、市販のキス竿です。

4 おわりに

キスをボートで釣るときは、海山フィッシングセンター（三重県矢口浦）と石倉渡船（三重県紀伊長島）で釣ることが多いです。海山フィッシングセンターでは2月から3月、石倉渡船では4月5月のゴールデンウィークで釣っています。この2カ所での釣りは、季節はまだ寒いということもあってか、メゴチが掛かってくるということは少ないです。場所なのか、時期なのかは不明です。だから、一般のキス竿で十分だと思います。

一方、乗合船は、6月から8月まで玉や丸（愛知県弥富市）に乗って釣っています。メゴチが結構多いです。乗合船から投げる、超高感度のキス竿が必要なわけですが、自作した竿はもう何年も使っています。5cmくらいのメゴチの当たりも分かり、調子がいいです。

ボートでのキス釣りも乗合船でのキス釣りも、竿は一人一本です。誘いをかけて釣るという釣り方だからです。「釣れた」ではなく、「釣った！」という釣りを楽しんでいます。